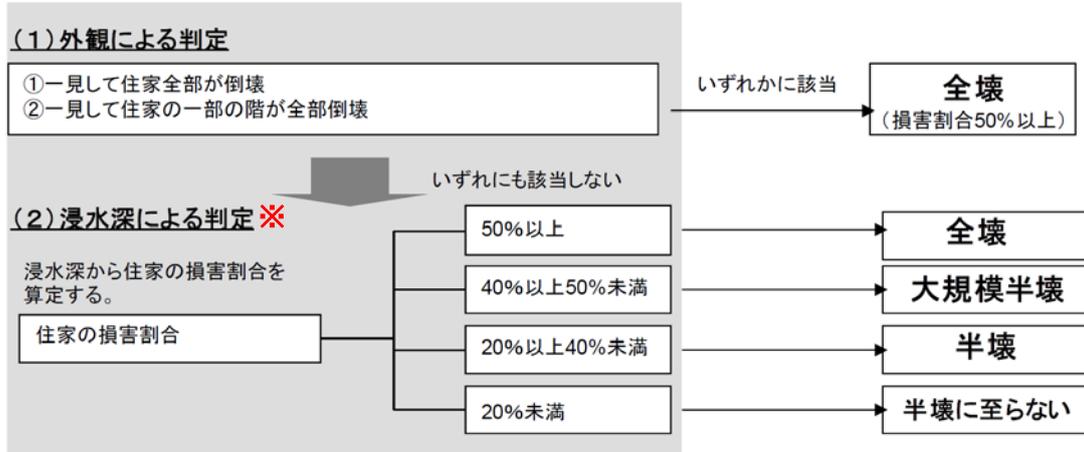


水害に係る被害認定調査について

1. 木造・プレハブの1～2階建ての戸建住宅であり、かつ、津波、越流、堤防決壊等水流や泥流、瓦礫等の衝突の外力被害がある場合

※木造・プレハブとは、在来工法（軸組工法）による木造住宅、枠組壁工法による住宅、木質系プレハブ住宅、鉄骨系プレハブ住宅を指す。

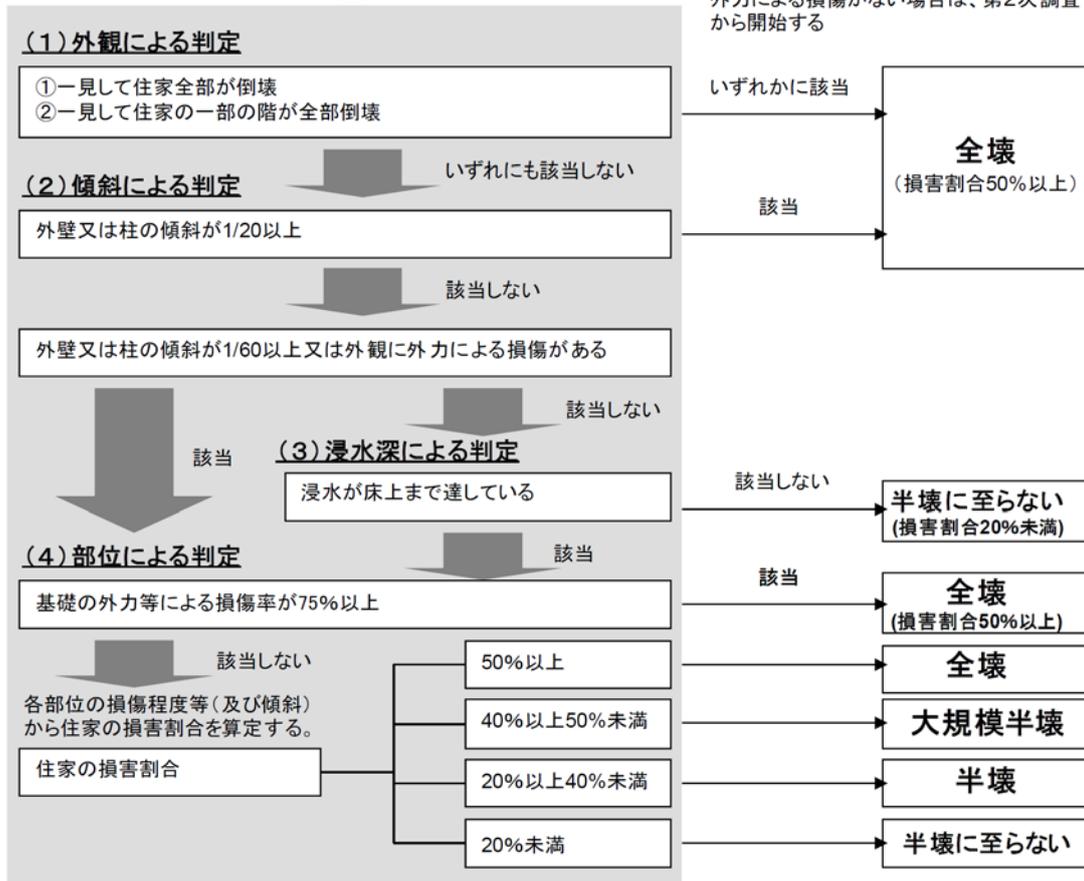
【第1次調査】^{戸建ての1～2階建てで、津波、越流、堤防決壊等水流や泥流、瓦礫等の衝突の外力による損傷がある場合}



【第2次調査】

被災者から申請があった場合

(※) 戸建ての1～2階建てでない場合や、外力による損傷がない場合は、第2次調査から開始する



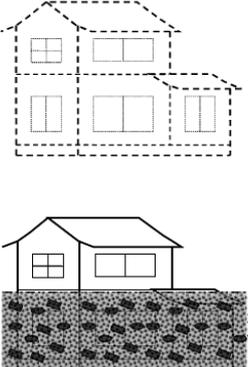
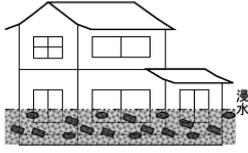
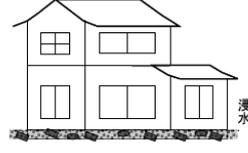
【被災者から再調査の依頼があった場合の対応】

被災者から再調査の依頼があった場合

被災者の依頼の内容を精査した上で、必要に応じて再調査を実施

※ 浸水深による判定

下図を参考に、外観の目視調査により、浸水深を把握し、被害の程度を判定する。なお、浸水深は最も浅い部分で測定する。

	<p>住家流失</p> <p>又は</p> <p>1階天井まで浸水 (浸水深の最も浅い部分で測定)</p>	<p>住家の損害割合 50%以上</p>	<p>全壊</p>	<input checked="" type="checkbox"/>
	<p>床上1mまで浸水 (浸水深の最も浅い部分で測定)</p>	<p>住家の損害割合 40%以上</p>	<p>大規模半壊</p>	<input checked="" type="checkbox"/>
	<p>床上浸水 (浸水深の最も浅い部分で測定)</p>	<p>住家の損害割合 20%以上</p>	<p>半壊</p>	<input checked="" type="checkbox"/>
	<p>床下浸水 (浸水深の最も浅い部分で測定)</p>	<p>住家の損害割合 20%未満</p>	<p>半壊に至らない</p>	<input checked="" type="checkbox"/>

※ 【木造・プレハブ】

戸建ての1～2階建てであり、かつ、津波、越流、堤防決壊等水流や泥流、瓦礫等の衝突の外力被害がある場合の住家被害に限り適用

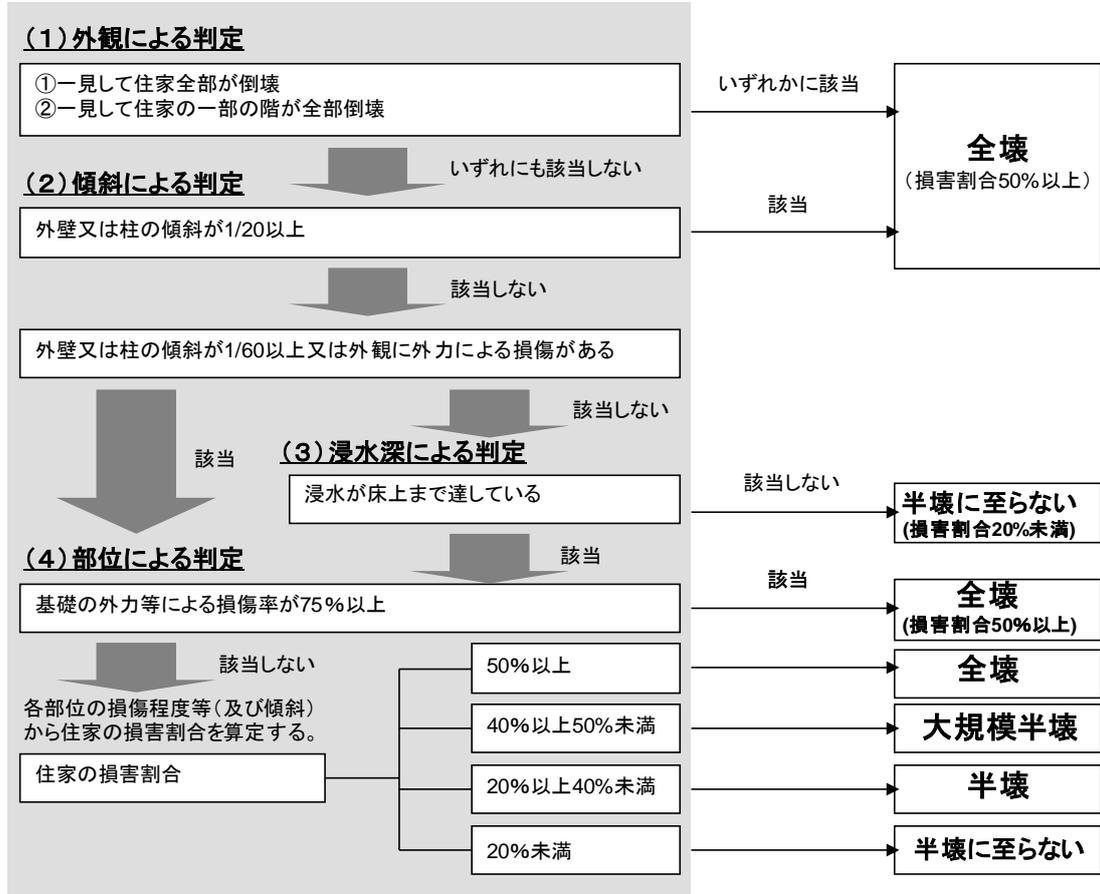
※ 【サンプル調査による被害認定の調査・判定方法】

区域内のすべての住家が【木造・プレハブ】戸建ての1～2階建てであり、かつ、津波、越流、堤防決壊等水流や泥流、瓦礫等の衝突の外力被害がある場合であり、かつ、1階天井まで浸水したことが一見して明らかかな区域については、サンプル調査（当該区域の四隅に立地する住家の調査）により、当該区域内の当該住家すべてを全壊と判定する。

2. 木造・プレハブではあるが1～2階建ての戸建住宅でない場合や、津波、越流、堤防決壊等水流や泥流、瓦礫等の衝突の外力被害がない場合

戸建ての1～2階建てでない場合や、津波、越流、堤防決壊等水流や泥流、瓦礫等の衝突の外力による損傷がない場合(第1次調査に該当しない場合)

【調査】



【被災者から再調査の依頼があった場合の対応】

被災者から再調査の依頼があった場合

被災者の依頼の内容を精査した上で、必要に応じて再調査を実施

3. 非木造（鉄骨造及び鉄筋コンクリート造の住宅）の場合

